

2023年6月期
第2四半期決算補足説明資料

株式会社リファインバースグループ
(東証グロース：7375)



2023年2月14日

既存事業及び新規事業が着実に成長し、売上高、売上総利益ともに大きく増加。

本社移転関連費用やMA関連費用など一過性費用の計上により販管費が一時的に増加するものの稼ぐ力は着実に向上。

①業績

- ✓ 素材ビジネスは全ての事業が順調に売上・利益を伸ばしており堅調に推移。
- ✓ 特に再生ナイロン樹脂「REAMIDE®」がアパレルや成型パーツ向けなど新たな顧客との取引が開始されるなど事業領域を順調に拡大し成長中。
- ✓ 資源ビジネスはオペレーション改善により過去最高の受注高を更新。車両回転率などの主要KPIが大きく改善しセグメント利益が大幅増。
- ✓ MA関連費用や本社移転費用など一過性費用により販管費が大幅に増加。

②新規事業

- ✓ エアバッグの国内廃車回収の開始やインテークマニホールドのリサイクルなど自動車関連領域での事業を拡大。
- ✓ コネクション社のPMIは順調に進捗。システムの統合や新規導入等が完了し、収益性改善を実現するための体制構築。収益改善への取組みに移行。
- ✓ 産業廃棄物業界のDX化推進を目的に自社開発の業務システムの外販を開始。

③課題

- ✓ 三菱ケミカルとの廃プラケミカルリサイクル事業化に向けた取組み加速。
- ✓ 脱炭素・サーキュラーエコミー等の文脈で事業機会は増加し続けており、成長の種となる事業機会は積極的に取り込んでいく。
- ✓ 人材採用や教育など人材投資は継続して積極的に行う。

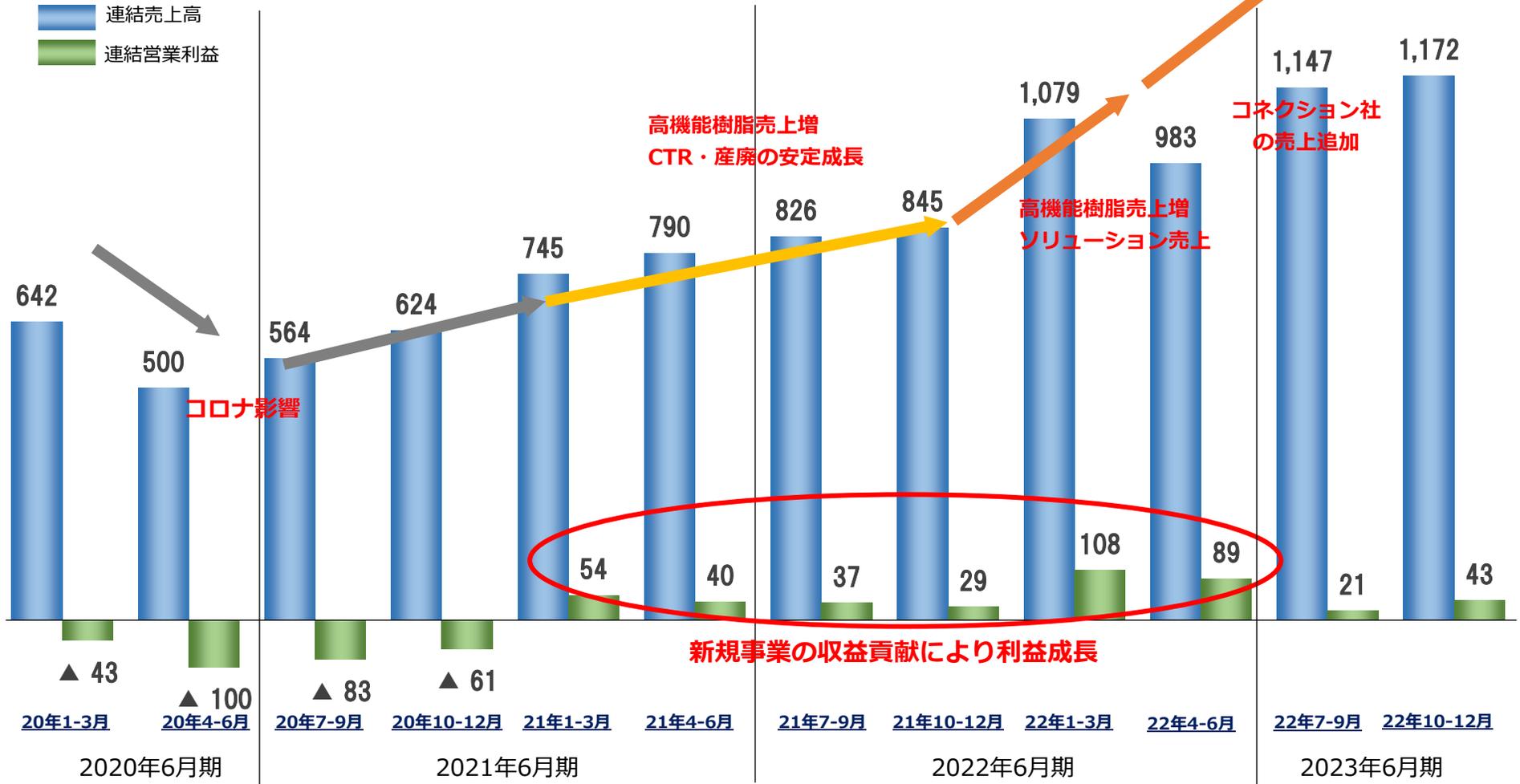
連結業績は既存及び新規ビジネスの成長にM&Aが加わったことで大幅な増収。
人材投資及び一過性費用の計上により販管費が増加しているが持続的な成長に向けた基盤は強化されている。

	2022年6月期2Q		2023年6月期2Q				(単位：百万円)
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	増減額	増減コメント
売上高	1,670	100.0%	2,318	100.0%	138.7%	647	既存事業、新規事業ともに生産・受注が堅調。
売上総利益	475	28.5%	663	28.6%	139.5%	187	
販売管理費	409	24.5%	599	25.9%	146.5%	190	MA関連費用、本社移転費用など一過性費用を計上。
営業利益	65	3.9%	63	2.7%	▲4.1%	▲2	
経常利益	30	1.8%	44	1.9%	143.3%	13	
当期純利益	29	1.8%	29	1.3%	▲1.0%	▲0	

21年6月期第2四半期までは富津工場(製鋼副資材)や一宮工場(高機能樹脂)の立上げ等の先行投資で赤字が継続。これら新規事業の生産改善・受注増で収益力を向上し、21年6月期第3四半期より連結営業黒字に転換。当期からコネクション社の売上が加わり増収に貢献し、オペレーション改善が進行中。新規事業とともに利益成長を進めていく。

単位：百万円

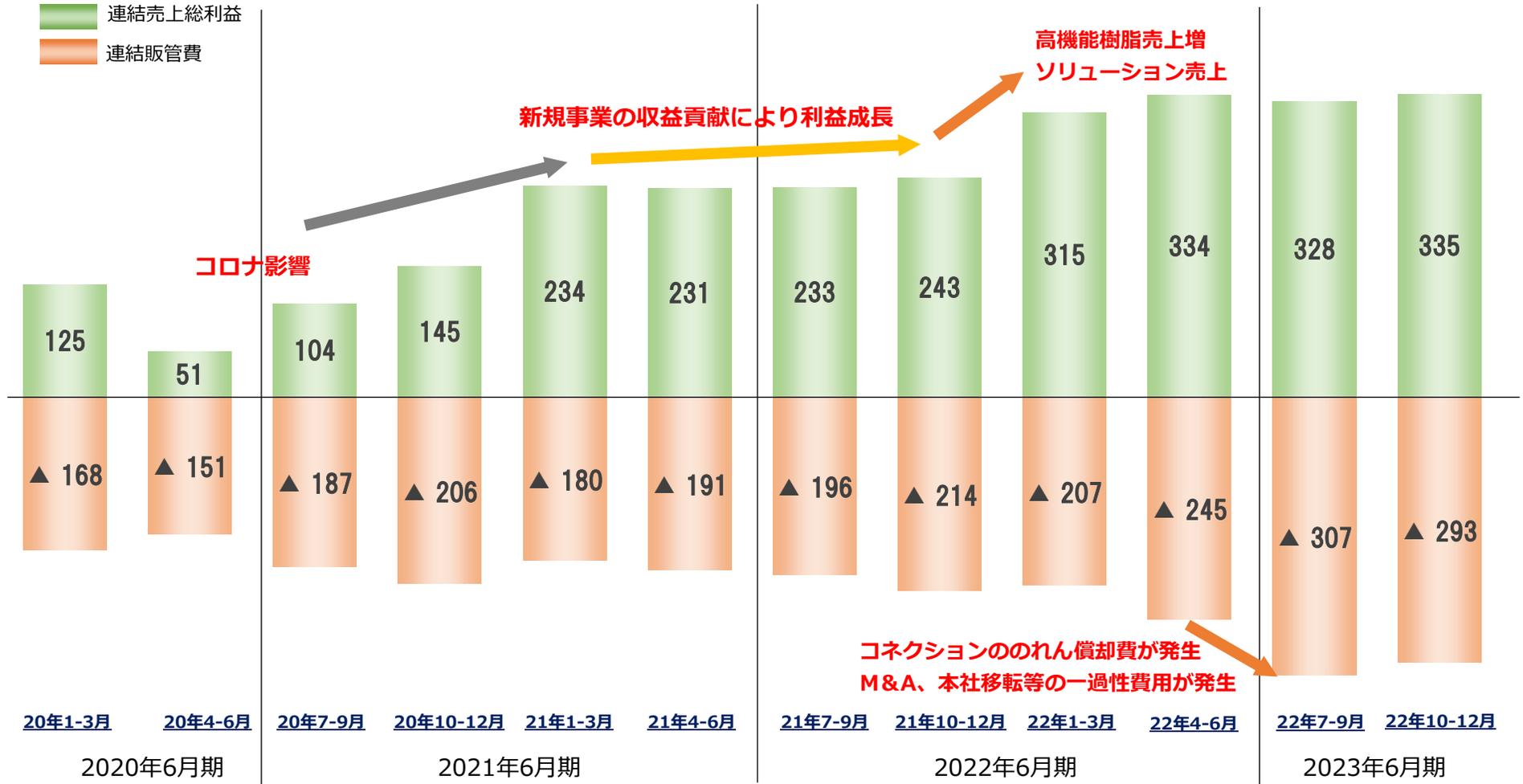
《連結売上高・営業利益推移》



売上総利益は前年同時期よりもソリューション事業のプラス影響がない状態で四半期で100M円程度増加。
人材投資や新規事業への取組み強化など将来の成長に向けて投資を継続。当期はM&A費用等で一時的に販管費が増加。

単位：百万円

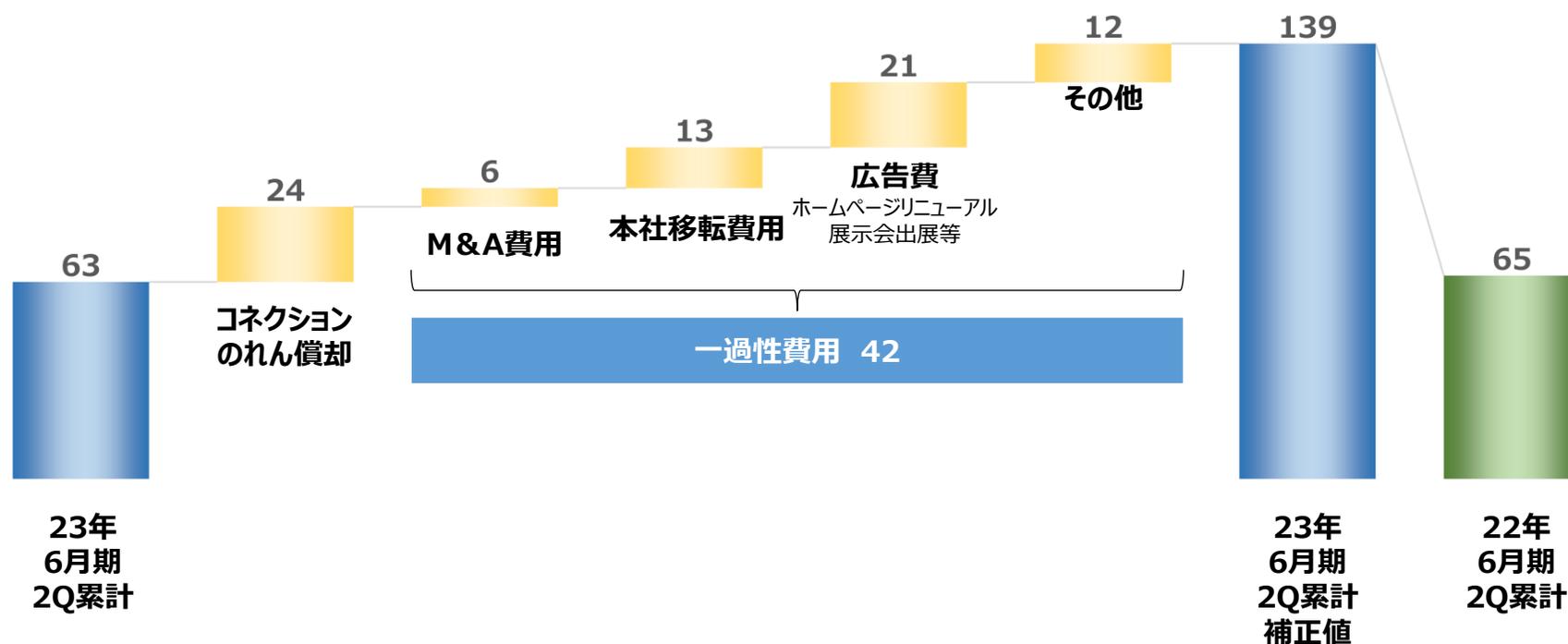
《連結売上総利益・販管費推移》



前期との比較において主として1Qで発生した一過性費用やのれん償却の影響などを除くことで収益力の変化を分析。
当期の特殊要因を除いた補正值ベースでは前期比113%増となり大幅に増加。

《連結営業利益の構成》

単位：百万円



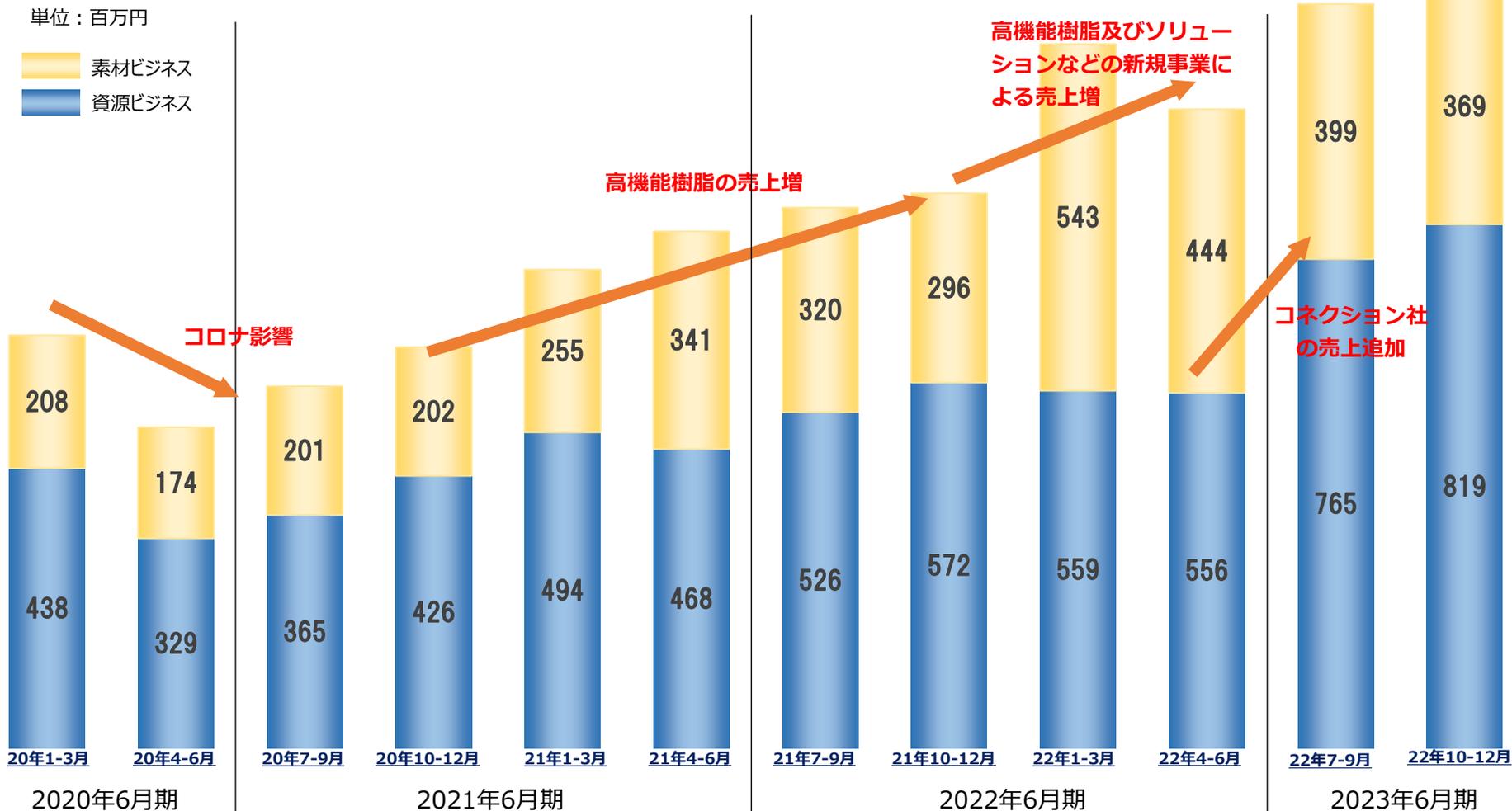
素材ビジネスはCTR事業、高機能樹脂事業、ソリューション事業の全てで増収増益を達成。
 資源ビジネスは四半期で過去最高の受注件数とコネクション社の売上追加で増収。オペレーション改善で増益も達成。

	2022年6月期2Q		2023年6月期2Q				(単位：百万円)
	金額	構成比 (利益率)	金額	構成比 (利益率)	前期比	増減額	増減コメント
素材ビジネス							
売上高	616	35.9%	768	32.7%	124.7%	152	廃タイルカーペットの処理受託量増、リファインパウダーおよびREAMIDE®の生産・販売増。REAMIDE®の高単価販売が増益に貢献。
セグメント利益・ 損失(△)	15	2.5%	43	5.6%	281.7%	27	
資源ビジネス							
売上高	1,097	64.1%	1,584	67.3%	144.4%	487	過去最高の受注件数更新。コネクション社の売上を上乗せ。
セグメント利益・ 損失(△)	228	20.8%	281	17.8%	123.5%	53	オペレーションと単価改善で増益。コネクション社とのシナジー創出による利益率アップを続ける。
全社費用							
全社費用	179	-	264	-	147.7%	85	移転費用・MA費用・採用費など一過性費用の増加

※2022年6月期は、素材ビジネスは再生樹脂製造販売事業、資源ビジネスは産業廃棄物処理事業の情報となります。

素材ビジネスはCTR、高機能、ソリューション各事業で堅調に受注を獲得。3Q以降でライセンス販売等を見込む。
資源ビジネスは過去最高の受注高を更新。コネクション社の売上も加わり大幅増収を継続。

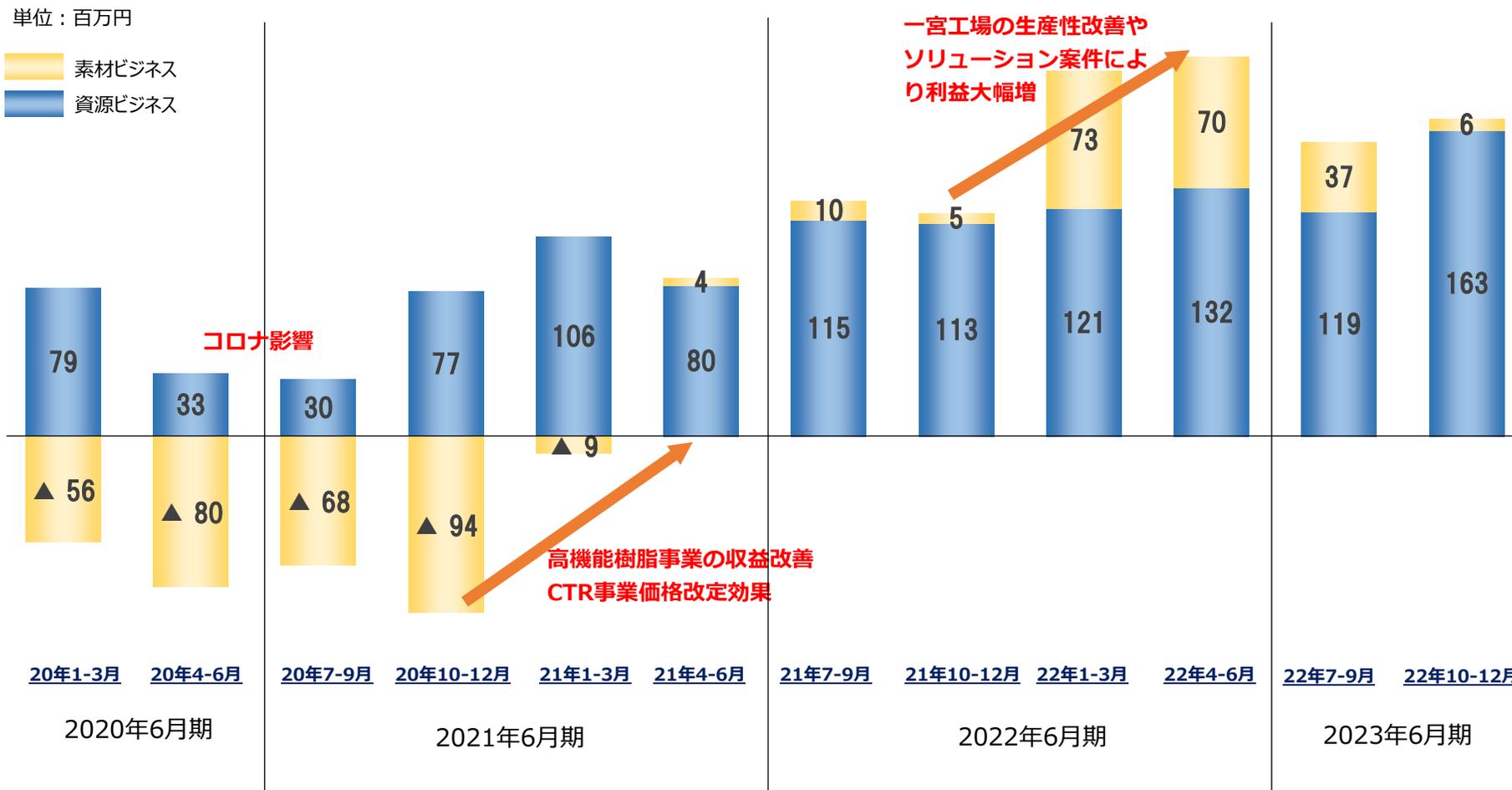
《セグメント別売上高推移》



※2022年6月期以前は、素材ビジネスは再生樹脂製造販売事業、資源ビジネスは産業廃棄物処理事業の情報となります。

素材ビジネスはCTR・高機能ともに生産・販売量が堅調に推移しており黒字化定着。用途拡大で利益率も改善。
資源ビジネスはオペレーションと単価改善で受注件数・利益が過去最高。コネクション社の収益性改善で利益増を見込む。

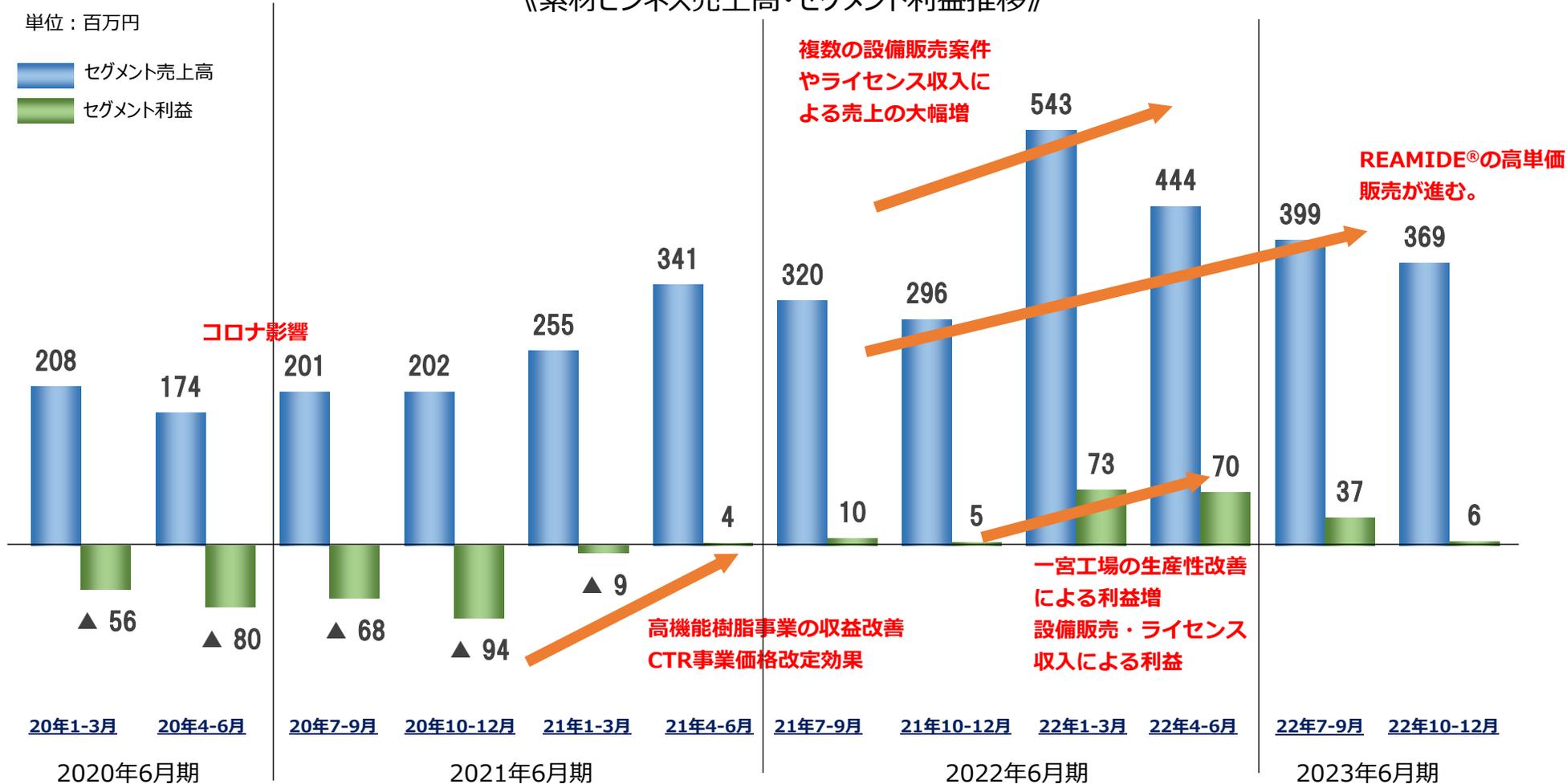
《セグメント利益推移》



※2022年6月期以前は、素材ビジネスは再生樹脂製造販売事業、資源ビジネスは産業廃棄物処理事業の情報となります。

新規事業への先行投資による赤字から21年6月期第4四半期で黒字に転換後、黒字を継続。
CTR、高機能樹脂ともに生産・販売が堅調。REAMIDE®の用途拡大により高単価での引き合いが増加中。
3Q以降にソリューション事業やライセンス収入の収益を計上する見込み。

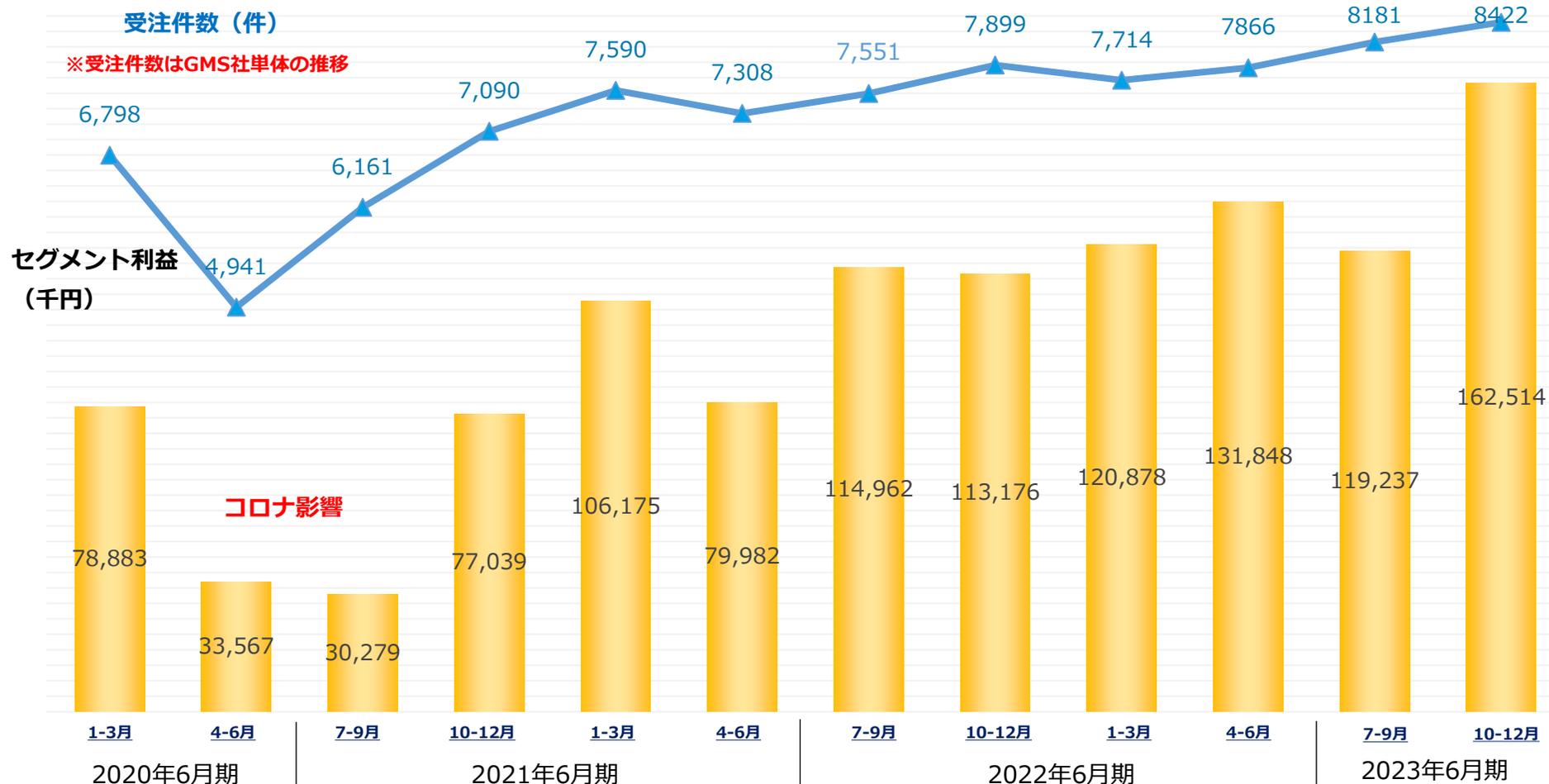
《素材ビジネス売上高・セグメント利益推移》



※2022年6月期以前は、再生樹脂製造販売事業の情報となります。

オペレーションの見直しやリソース配分の最適化により過去最高の受注件数を更新。主要KPIが全て改善し過去最高益。スクラップ相場低迷によるマイナス影響を上回る収益改善。コネクション社の収益性改善を進め、更なる利益増を図る。

《資源ビジネス受注件数・セグメント利益推移》



※2022年6月期以前は、産業廃棄物処理事業の情報となります。また受注件数は連結子会社である株式会社ジーエムエスの情報となります。

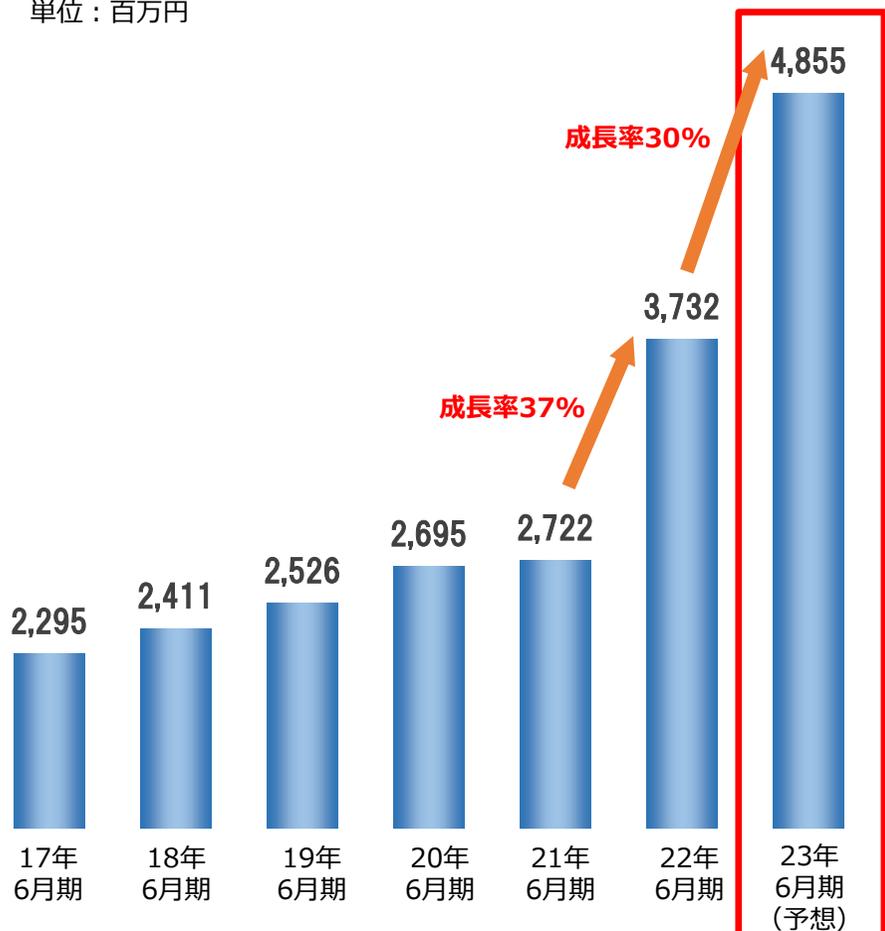
コネクション社の買収により固定資産が大きく増加。

単位：百万円	2022年6月末	2022年12月末	増減額
流動資産	1,694	1,384	▲310
現金及び預金	934	537	▲397
受取手形及び売掛金	520	577	56
その他	239	269	30
固定資産	1,553	2,848	1,294
有形固定資産	1,378	2,201	823
無形固定資産	19	481	462
投資その他の資産	156	164	8
繰延資産	3	-	▲3
開業費	3	-	▲3
資産合計	3,252	4,233	980
流動負債	911	1,210	298
支払手形及び買掛金	108	166	58
1年内返済予定長期借入金	400	433	33
その他の流動負債	402	609	207
固定負債	1,771	2,400	628
長期借入金	1,535	2,091	555
その他の固定負債	235	308	73
負債合計	2,682	3,610	927
純資産	570	622	52
負債純資産合計	3,252	4,233	980

22年6月期は既存事業、新規事業ともに大幅に成長し、9期連続増収・過去最高売上高を更新。
2年連続で売上高成長率は30%超の高い水準で推移し、売上高・営業利益・EBITDAともに過去最高を更新する見込み。

《連結売上高推移》

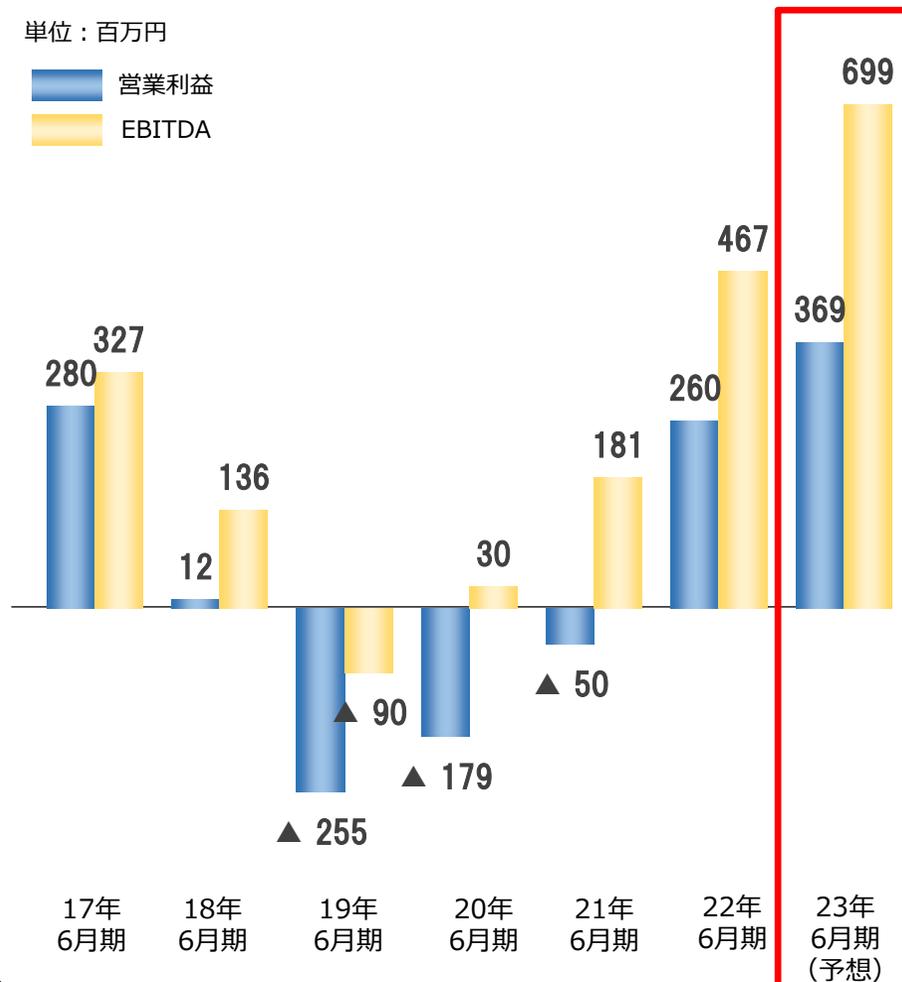
単位：百万円



《連結営業利益・EBITDA》

単位：百万円

■ 営業利益
■ EBITDA



既存事業、新規事業ともに大幅な成長を継続。10期連続の増収・過去最高の売上高を更新で4期連続の増益を見込む。積極的な人材投資を行い今後の更なる成長のための基盤強化に注力。

	2022年6月期実績		2023年6月期予想			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	増減額
(単位：百万円)						
売上高	3,732	100.0%	4,855	100.0%	130.1%	1,123
売上総利益	1,124	30.1%	1,507	31.0%	134.0%	383
営業利益	260	7.0%	369	7.6%	141.8%	109
経常利益	210	5.6%	343	7.0%	163.2%	133
当期純利益	179	4.8%	333	6.8%	185.9%	154

素材ビジネス

- ✓ 再生樹脂製造販売事業を素材ビジネスとして再編。素材メーカーとしてリファインパウダーやREAMIDE®の製品販売が収益の源泉。
- ✓ カーペットタイルリサイクル事業は引き合い増による単価改定と生産・販売数量増で増収増益を見込む。
- ✓ 高機能樹脂事業はパートナー企業との協業によるREAMIDE®の生産・販売数量の増加と繊維化等による高付加価値化で増収増益を見込む。

資源ビジネス

- ✓ 産業廃棄物処理事業を資源ビジネスとして再編。廃棄物を資源と捉え、廃棄物処理の受託料と資源の供給によるGATE FEEが収益の源泉。
- ✓ コネクション社の連結開始。既存ビジネスでジーエムエスとのシナジー創出に注力するため、解体工事は縮小。
- ✓ ケミカルリサイクル向け廃プラ資源の供給体制の構築を加速する。

前提条件

- 会社名 : 株式会社リファインバースグループ
- 資本金 : 159,630千円 (2022年12月31日現在)
- 設立 : 2021年7月
- 所在地 : 本社 東京都千代田区有楽町2-2-1
- 取締役 : 代表取締役 越智晶 (兼リファインバース(株)代表取締役社長 リファインマテリアル(株)代表取締役社長)
常務取締役 加志村竜彦
取締役 瀧澤陵
取締役 裕村順也
取締役 堀内賢一
社外取締役 鮫島卓
社外取締役 奥村繁
- 従業員 : 190名(グループ全体)
- グループ企業 : リファインバース株式会社、株式会社ジーエムエス、リファインマテリアル株式会社、株式会社コネクション

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。